謹賀新年

今年も大兼工務店を
よろしくお願いいたします。

お客様の生涯利益を実現する
笑顔と「ありがとう」を集めよう

にぎわい

【発行元】
株式会社 大兼工務店 いちご倶楽部
0748-42-1151

第227号

◆topics◆

新年号

お客様紹介　寛閑観　様
2023年末特別安全研修会

きらりまちの人　松井　亜希子 様
シャンフレーズ守山６丁目
Dタイム／Information

2023年 年末安全研修会

12月1日　恒例となりました、年末特別安全研修会を行いました。

今年も昨年同様にコロナ禍体制での研修会という事で、『彦根市立会館みずほ文化センター』をメイン会場として、遠方の協力業者の方々については、各企業内でｍｅｔを使ってのリモート研修会となりました。全員で、無災害に向けて万全な体制を整えていく決意を改めて致しました。

また、記念講演として、株式会社ホワイトクロス代表取締役　島田健作氏によるテーマ『Ｍ＆Ａの基本知識と活用方法』をお聞きしました。

現在の情勢や傾向と共に深くご教示頂きました。

「近江商人」の歴史を持つ近江八幡市に、新たな挑戦をされるレストランがＯＰＥＮ致しました。

その名は、「寛閑観（かんかんかん）」。意気揚々としたリズミカルなこの店名は、伝説の料亭『春岱寮』が東京麻布で出版されていた会員向け月刊誌名から、名付けられたそうです。

薪火焼きの牛肉を始めとする、近江牛や和牛を存分にご堪能頂ける牛料理専門店です。

国道に面した建物は、重厚感ある塗り壁とタイルで構成された外壁が、高級感をもたらしています。

夜は、アプローチライトが照らす外観が夜景の中にぼんやりと浮かび、美食の異世界へ誘うような不思議な空気感を演出します。

入店しますと、広がるのは、全面ガラス張りの窓辺。突き抜ける空と田園風景の視界の中に、高い天井を飾るランダムかつ複雑に組まれた木格子が目に留まり、インパクトある印象となっています。ゆとりを持った客席と、境界のないオープンキッチンやグリルステーションからは、調理の丁寧さ、そして自信と誇りを直に感じさせてくれる、そんな配置となっています。上質な料理と上質な空間の融合を見事に実現致しました。

多数の個室を完備された二階も全面ガラス張り。こちらからは、琵琶湖の対岸にある雄大な比良山系の山並みを見渡せます。

綿密な景観計画がなされ、景色が壁画となり、料理を楽しむ時間を盛り上げます。

皆様も是非、足を運んでみてください。

近江牛・和牛専門
寛閑観
KAN KAN KAN

寛閑観へご案内
グーグルマップ

OFFICIAL_KANKANKAN

キラリまちの人

松井亜希子さん

今回は東近江市平柳町（旧湖東町）のヘムスロイド村で工房を構えられる、銅版画家の松井亜希子さんをご紹介します。

板に絵を描いて、彫刻刀でその線をなぞって溝を掘り、インクや絵の具を塗って紙に写す木版画は、多くの皆さんが一度は体験されたことがありますよね。版画とは彫刻や細工を施した版を作り、印刷を行う紙にインクの転写・透写をして複数枚の絵画を製作する技法ですが、現代では絵画の複製ではなく版画独自の表現を追求されている作家さんが数多くいます。版の仕組みから凸版画、凹版画、平版画、孔版画と大きく四つに分類されたり、版面の種類によって木版画、銅版画、石版画に分類されることもあります。松井さんが創作される銅版画は馴染みが薄いのですが、線が肥痩、強弱と変化に富み、インクが紙面に盛り上がる独特の質感で表現できる版画なのです。

子供の頃から絵を描くのが大好きだった松井さんは「暇があればセーラームーンを描いてました。私の世代なら皆そうでしたよ」と笑われます。中学校では美術部に入り、もっと美術が好きな人達に囲まれたいと、デッサンを習いながら美術専門の高校に進学されます。そこでは版画は勿論、油絵やアクリル画や水彩画を体得されました。美術大学の二年生の時に、世界を舞台に活躍された『旅する版画家』ヨルク・シュマイサー教授との出会いが、松井さんが銅版画の道に進む大きな力となりました。「自由過ぎる色彩絵画より、銅板にドライポイントやラインエッチングという限られた技法で絵を描き、制約の中でのアイディアを活かしてわずかな自由を楽しむことや、版が出来てから刷り上がるまでの心地よい時間差。何より版画が刷り上がる瞬間のワクワク感が好きです。自分が描いた線が版を介して、美しく、重厚感が出たりと変化することも銅版画の魅力なんですよ」と話されます。以来、銅版画一筋に邁進、創作活動に取組まれています。（※ドライポイントとは銅板にニードルなどの硬い素材で、引っ掻く、突く、転がすなどしてイメージを版に刻んでゆく手法。ラインエッチングとは腐蝕液によって版を腐蝕させる手法。）松井さんはいつもカメラを持って風景を撮影し、それをヒントに多少デフォルメしてドローイングに使われています。そのテーマは水であったり、ガラスであったり、陰影の強い光であったり、移り変わっていく身近な現象や風景などです。具象的な表現の中に抽象的に表現される風景として、実像と虚像が混在する独特の世界感をモノクロで描かれます。「最近は身の回りにある、様々な自然の現象を描いています。木、樹皮、葉、根の分岐のパターンや水面に映る波紋など、移り変わっていくものを、自分のストロークに重ねて、自分の気持ちを版に表現しています。黒色の着色を銀色に変えたり、版画の制約条件から脱したいと刷り上がった紙に着彩したりと、版画とは違う要素を入れて、新たな風合いを出しています」と話されます。

現在まで、13年平和堂財団芸術奨励賞、14年AOMORI PRINTトリエンナーレ優秀賞、23年京都新鋭選抜展 読売新聞社賞などを受賞され、個展やグループ展を中心に活躍されている松井さん。今年の8月にヘムスロイド村に入村し、10月のヘムスロイドの杜祭りでは、地域に開かれた活動がしたいと、銅版画体験のワークショップを開催され、来年4月からの銅版画教室開催に向けて、良い意味での交流がはかれたようです。「各地での発表の場を広げ、自然に囲まれた工房で、自分の作品づくりを発展させたい」と意気込みを話されます。今後益々のご活躍をお祈りします。

akikomatsui_etching

全11区画

号地	面積	販売価格
1号地	169.29㎡（51.21坪）	2,308万円
6号地	169.22㎡（51.21坪）	商談中
7号地	169.51㎡（51.27坪）	2,179万円
9号地	169.53㎡（51.28坪）	2,205万円

[シャン・フレーズ守山6丁目　全体概要]■所在地/守山市守山6丁目地先■交通/JR東海道線「守山駅」徒歩20分■総区画数/11区画■地目/宅地■用途地域/第2種中高層住居専用地域■建ぺい率/60%■容積率/200%■道路/6m(アスファルト舗装)■電気/関西電力■ガス/大阪ガス(都市ガス)■水道/守山市上水道■汚水/守山市下水道■現況/2020年12月初旬完成■備考/施設負担金別途必要、7・8号地建物着工前に追跡調査必要(期間1～2ヵ月、費用負担なし)■土地販売価格/2179万円～2411万円■土地面積/169.27㎡～184.89㎡■建築条件宅地/土地売買契約締結後、3ヵ月以内に建築工事請負契約が成立しなかった場合、土地売買契約は白紙となり、受領済みの金銭は無利息で返金します。

point 1 守山駅から徒歩20分!
ＪＲ守山駅から新快速利用、京都駅まで25分、大阪駅まで55分。通勤通学も軽快です。

point 2 全区画51坪以上!!
日当たりの良い広々とした敷地にゆとりの住まいを建築可能。前面道路は駐車もしやすい6m。

point 3 高度な技術で夢を形に!
長期優良住宅のご提案も可能です。「収納スペースがほしい」「キッチン動線を便利にしたい」生活の中の理想を叶えます。

Contact
お気軽にお問合せください
▶お電話 受付時間 9:00~18:00
0120-15-4939
▶お問合せフォーム

LEE × だいかね My star aquiras+
『LEE』はおしゃれと暮らしを楽しむ女性を応援するライフスタイルマガジン。
このコロナ禍において、ステイホームにも負けず、日々の暮らしを楽しむ読者たち。
“クオリティ・オブ・ライフ“の向上を目指す彼女たちの興味にオールジャンルで答えます。
そんなLEEの～創るも暮らすも楽しい家づくり～に大兼工務店が滋賀県代表で取り上げられました！

Instagram フォローする お願いします。♥
だいかね My star　aquiras+　だいかねの家　TEAM DOBOKU

YouTube チャンネル登録 お願いします。
だいかねの家_大兼工務店 ▶▶▶▶▶

ありがとうマンが贈る

Dタイム

～心に残るありがとう～話

第184章

先日、「なるほど！」と納得するお話に出会いました。それは、「愛を与えて下さったことに気付くのは、自分がその立場になった時に始めて気づく・・・」誰もが経験のあることだと思います。

受け入れられない心から受け入れられる心になる！ありがとうと素直に言える自分がいる！そんな言葉が頭の中でグルグルと回っていました。皆さんにもシェアさせていただきます。

では、始まり、始まり・・・。

「父の記憶」

俺の父は、俺が6歳の時に死んでしまった。ガンだった。確か亡くなった当時の年齢は34歳だったと思う。

今思えばかなりの早死にだった。

呆気なく死んでしまったこともあるが、自分がまだ6歳と幼かったこともあり、父の記憶はあまりなかった。

だから父のイメージは、俺の中ではあまり良いものではなかった。

どちらかと言えば怖いという印象しかなかった。

父の記憶といえば、一つだけ鮮明に残っているものがあった。それはラーメン屋の中での思い出だった。

これも詳しくは覚えていないが、父はラーメンの大盛りを一つだけ頼み、取り分け皿を一枚もらい、そこに俺の分のラーメンを入れてくれた。

多分、当時5歳くらいだった俺にとって取り分け皿の分量のラーメンでも結構な量だったのだろう。

食べるのに時間がかかった。

一生懸命食べたとは思うが、やはりそれなりの時間がかかってしまったと思う。

ふと見ると、父が俺のことを見ていた。

じっと見つめていた。

怖い顔をして睨んでいたような記憶がある。『早く食え』と急かされているようで、嫌で怖い思い出だった。

ちらちら父の視線を盗み見たが、父はいつまで経っても俺を睨んでいた。

『何でそんなに俺のこと睨むんや…』と思ったが、父の表情が何となく怖くて、再びラーメンに目を落とすと必死で食べた。

それが数少ない父の記憶だった。

そんな俺も母に女手一つで育てられ、30歳になった頃に結婚した。

そして男の子を授かった。

とても可愛く、目の中に入れても痛くないとはこのことかと初めて知った。

そして息子も先日、幼稚園に入る歳になった。だが、仕事が忙しいこともあり満足に遊べてやっていない。

だから先週、日頃の罪滅ぼしにと息子を連れて2人で出かけた。

そして昼飯時になり腹が減ったので何が食いたいかと尋ねたら、息子は「スパゲティが食べたい」と言った。

息子はまだ食が細いので、スパゲッティの大盛りを頼み、2人でシェアして食べた。

息子は一生懸命食べていた。

先に食べ終えた俺は、頑張って食べている息子がとても愛しくずっと眺めていた。

そんな俺の視線に気付いたのか、息子はちらちらと俺の方を見ていた。

俺も多少気恥ずかしくもあり、仏頂面で見て見ぬ振りをしつつ、また息子が食べる姿を見ていた。

仕事が忙しく、普段あまり会話もない俺と息子だが、だからこそ俺は息子がとても愛しく思えた。

気が付けば、いつまでも見つめていたいと感じていた。

あの時の親父の視線の意味が、今になってようやく理解できた。

父さん、ありがとう。

私も同じような体験があります。

「なんて、厳しいことばかり言うのやろ！」「なんで、私ばかりに言うのやろ！」と、反抗していましたが、今はこの言葉を言われる私です。

ここの解釈は、私の為に一生懸命に指導してくださったんだ！嫌なことを私の成長のためにあえて言って下さったんだ！と捉えていけばいいのですよね。

愛を与えて下さったことに気付くのは、自分がその立場になった時に始めて気づく・・・。

「ありがとうございます」と何事にも言える人格者になっていきましょう！　by ありがとうマン